

識別ポイントに係る資料

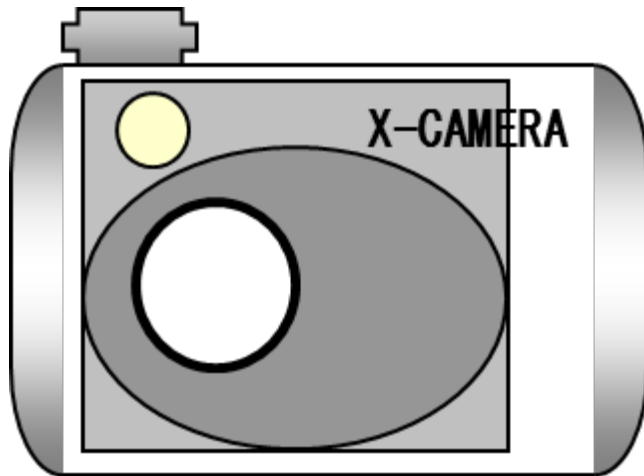
1. 差止対象物品

差止対象物品は、下記のイ号意匠である。

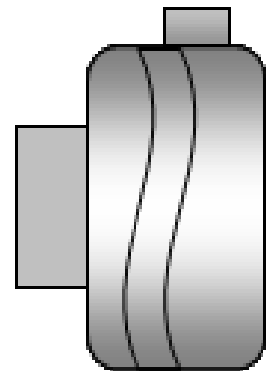
本資料は記載方法の一例です。  
詳しくは税関にお問い合わせください。

物品：デジタルカメラ

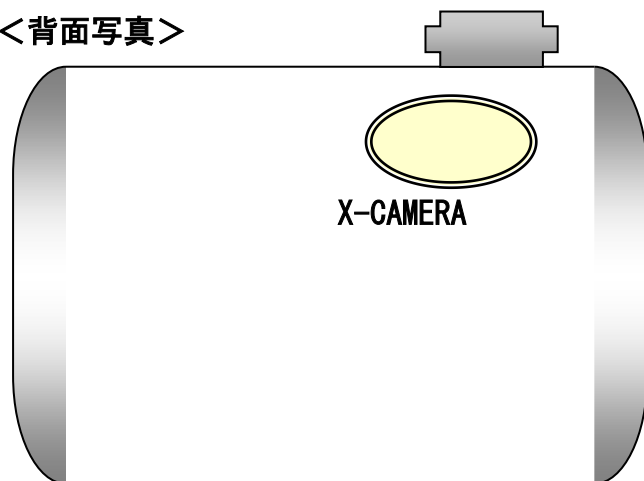
<正面写真>



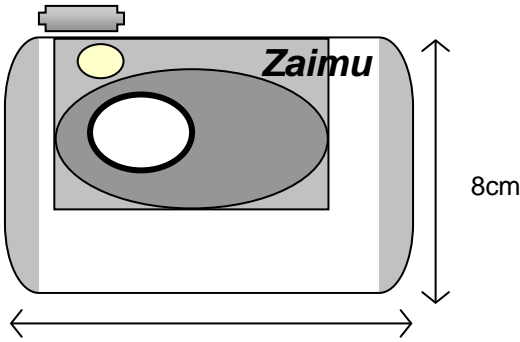
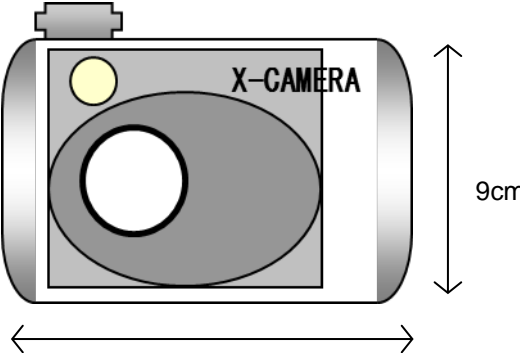
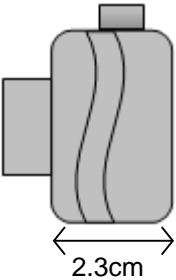
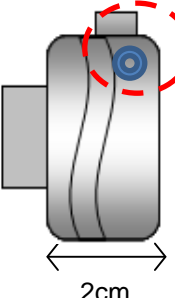
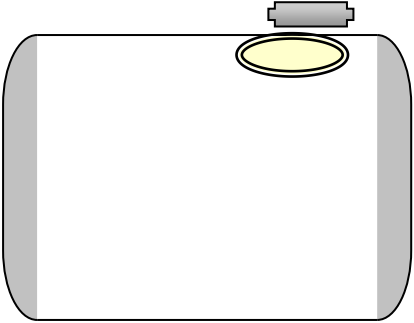
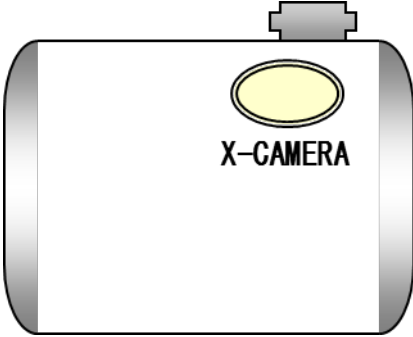
<左側面写真>

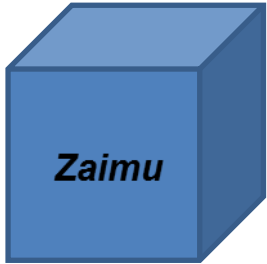
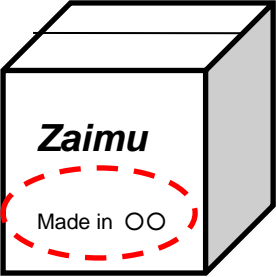

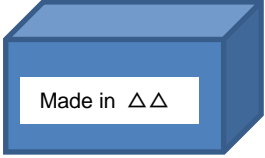


<背面写真>



## 2. 真正品と侵害品（差止対象品）の相違点

真正品	侵害品（差止対象品）
<p data-bbox="352 230 512 259">&lt;正面写真&gt;</p>  <p data-bbox="395 645 485 674">13.5cm</p> <p data-bbox="715 465 767 495">8cm</p> <p data-bbox="236 801 620 920">撮影レンズの右上部に 権利者のメーカー名である 「Zaimu」の表記がある。</p>	<p data-bbox="1050 230 1209 259">&lt;正面写真&gt;</p>  <p data-bbox="1038 645 1112 674">13cm</p> <p data-bbox="1358 465 1410 495">9cm</p> <p data-bbox="887 792 1287 869">撮影レンズの右上部に 「X-CAMERA」の表記がある。</p>
<p data-bbox="357 1048 539 1077">&lt;左側面写真&gt;</p>  <p data-bbox="309 1350 383 1379">2.3cm</p> <p data-bbox="440 1160 762 1317">ストラップ用リングは ない。 本体両端はモノカラー である。</p>	<p data-bbox="1043 1048 1225 1077">&lt;左側面写真&gt;</p>  <p data-bbox="954 1350 1011 1379">2cm</p> <p data-bbox="1086 1151 1409 1308">ストラップ用リングが 取り付けられている。 本体両端はグラデーシ ョンカラーである。</p>
<p data-bbox="357 1536 512 1565">&lt;背面写真&gt;</p>  <p data-bbox="280 1951 647 1980">背面に表記は存在しない。</p>	<p data-bbox="1050 1525 1209 1554">&lt;背面写真&gt;</p>  <p data-bbox="906 1951 1321 2027">ファインダーレンズの下部に 「X-CAMERA」の表記がある。</p>

真正品	侵害品（差止対象品）
<p data-bbox="352 226 536 255">&lt;送品個装箱&gt;</p> <div data-bbox="240 322 507 584">  </div> <p data-bbox="536 367 759 483">立方体の緑色の箱に「Zaimu」の表示がある。</p> <p data-bbox="352 913 564 943">&lt;輸送用外装箱&gt;</p> <div data-bbox="225 1077 501 1352">  </div> <p data-bbox="536 1106 759 1375">「Zaimu」の表示がある。 原産地表示あり（権利者製品は○○国のみで製造）</p>	<p data-bbox="1046 226 1230 255">&lt;送品個装箱&gt;</p> <div data-bbox="879 349 1145 506">  </div> <p data-bbox="1161 367 1417 524">直方体の緑色の箱に「X-CAMERA」と型番の表示がある。</p> <div data-bbox="871 651 1137 808">  </div> <p data-bbox="1161 669 1417 826">箱のいずれかの面に、原産地表示シールが貼付されている。</p> <p data-bbox="1046 909 1259 938">&lt;輸送用外装箱&gt;</p> <p data-bbox="1046 1095 1106 1124">不明</p>

### 「識別ポイントに係る資料」作成上の留意点

○差止対象品を特定した上で、識別ポイントを記載して下さい。

○差止対象品の特定は、全体と特徴がわかる写真を添付して下さい。必要に応じて拡大写真等を添付して下さい。また、必ずしも6面図が必要ではありません。

○識別ポイントは、税関が侵害疑義物品を発見するための参考となるポイントです。

○真正品又は侵害物品に特有の表示、形状、包装等の真正商品と侵害物品を識別するポイントや方法を記載してください。権利の内容と直接関係しない事項でも構いません。

○記載にあたっては、

- ・ 真正品又は侵害物品の全体が分かるようにしてください。
- ・ 識別のポイントとなる箇所の全体から見た位置が分かるようにしてください。
- ・ 可能な限り、鮮明な画像としてください。